

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# イホスファミド療法

3~4 週毎 コース予定

疾患名 子宮肉腫

主治医 指導医 HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

## スケジュール

	day1	day2	day3	day4	day5
イホマイド(イホスファミド) 1.5 g/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓
ウロミテキサン(メスナ) 300 mg/m <sup>2</sup> /回	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓

【注意】\*必要時、補液にメイロンを混注して尿量を確保する。

\*イホスファミド投与時は出血性膀胱炎予防目的でウロミテキサン(メスナ)を点滴する。

ウロミテキサンの1回投与量(mg)は、イホスファミド1日投与量(mg)の20%量とする。

ウロミテキサンの点滴は、イホスファミド投与開始時、4時間後、8時間後の3回行う。

☆通常量より減量する際の理由

## (レジメン)

### day 1-5

- |                                    |                       |
|------------------------------------|-----------------------|
| ① 生食 500 mL                        | 維持(20 mL/時間)          |
| ② ヴィーン D 500 mL                    | 点滴静注 120分(250 mL/時間)  |
| ③ ヴィーン D 500 mL                    | 点滴静注 120分 (250 mL/時間) |
| ④ グラニセトロン注 3 mg 1筒                 | 側管静注                  |
| ⑤ デキサメタゾン注 9.9 mg(3 mL) + 生食 20 mL | 側管静注                  |
| ⑥ イホマイド + ウロミテキサン                  | + 生食 100 mL           |
|                                    | 点滴静注 30分(200 mL/時間)   |
| ⑦ アセテート維持液 3G 500 mL               | 点滴静注 120分(250 mL/時間)  |
| ⑧ ヴィーン D 500 mL                    | 点滴静注 120分(250 mL/時間)  |
| ⑨ ウロミテキサン + 生食 50 mL               | 点滴静注 30分(100 mL/時間)   |
| *イホマイド開始 4時間後                      |                       |
| ⑩ ウロミテキサン + 生食 50 mL               | 点滴静注 30分(100 mL/時間)   |
| *イホマイド開始 8時間後尿量をみて補液を追加            |                       |

### day 6 - 7 デキサメタゾン錠 8mg 内服

イホスファミド療法

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					